

令和5年10月10日 公告分
「航空隊庁舎建設電気設備工事」

○設計図書の一部に表記誤りがありました。再度ご確認ください。

修正箇所	誤	正
図面番号 11 図面名称：非常用発電設備 仕様・結線図・外形図	図面のとおり	図面のとおり

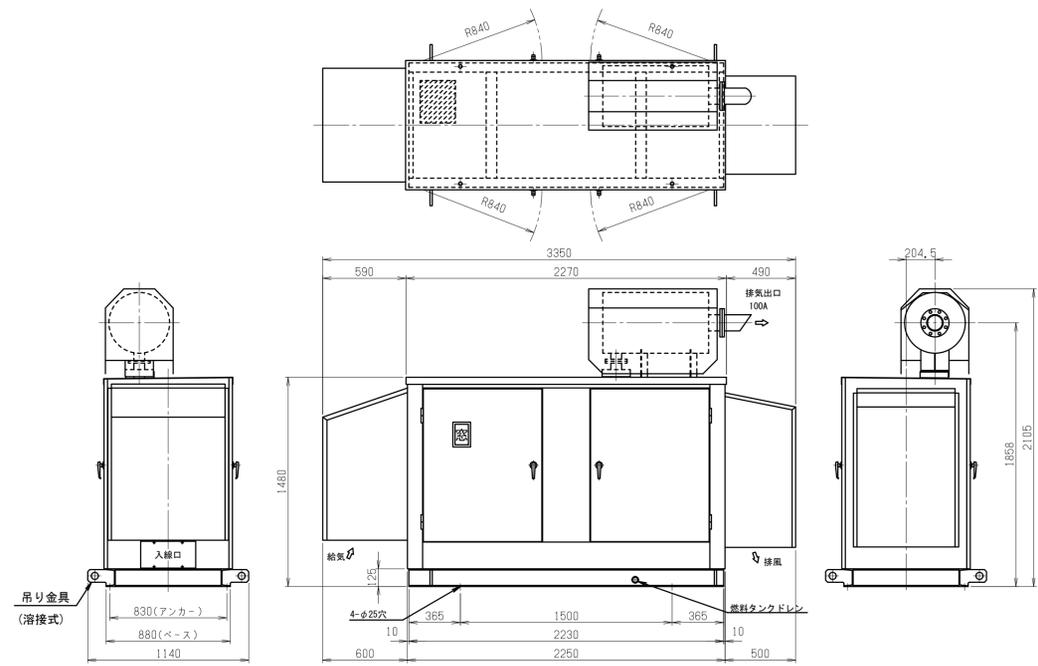
要目表

機種名称		AP115C-T (屋外)				
発電機	形式	横軸回転磁界同期発電機	エンジン	形式	立形水冷4サイクルディーゼル機関	
	容量	105kVA	燃焼方式	直接噴射式		
	電圧	220V		定格出力	107kW	
	電流	276A		回転速度	1800min ⁻¹	
	周波数	60Hz		冷却方式	ラジエータ冷却	
	回転速度	1800min ⁻¹		冷却水量	2.2L	
	相数	3相3線		始動方式	セルモータによる電気始動	
	極数	4極		使用燃料	種類	ディーゼル軽油
	力率	80%			別置タンク容量	1950L
	耐熱クラス	発電機		電機子: F 界磁: H	燃料消費量	27.0 L/h
				電機子: F 界磁: F		潤滑油量 (全量/有効量)
	保護方式	ラジエータファン		電機子: F 界磁: F	ラジエータファン排风量	140 m ³ /min
				開放保護形 (IP20)	バッテリー種類	REH
	冷却方式	IC01 (自由通流形)		容量	DC24V-24AH	
	充電方式	半導体式全自動充電		始動時間	40秒以内	
キュービクル	騒音値 ※	75dB (A) 以下		乾燥質量	1680kg	
	塗装色	5Y7/1 半ツヤ	装備質量	1768kg		
			認定	(一社) 日本内燃力発電設備協会		

※ 4方向エネルギー平均
機側1m、高さ1.2m 半自由音場下による

保護装置一覧表

項目	デバイス	警報表示灯	警報	機関自動停止	主回路遮断	外部信号
潤滑油圧低下	63Q	○	○	○	○	○ (一括)
冷却水温度上昇	26W	○	○	○	○	
過回転	12	○	○	○	○	
始動渋滞	48T	○	○	○	—	
過電流	51	○	○	×	○	
過電圧	59G	○	○	○	○	
緊急停止	5E	○	○	○	○	
燃料タンク減油	330L	○	○	×	×	
過負荷	49	○	○	×	×	



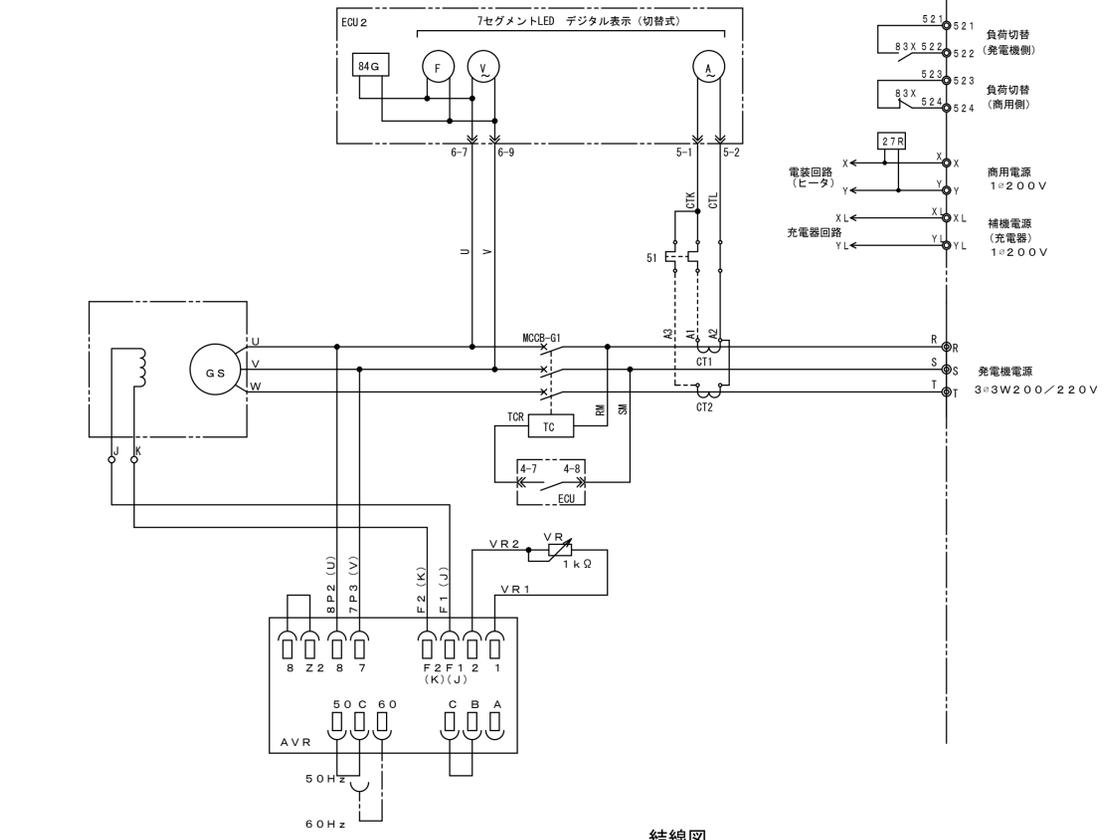
発電設備外形図(屋外 75dB 仕様)

特記事項

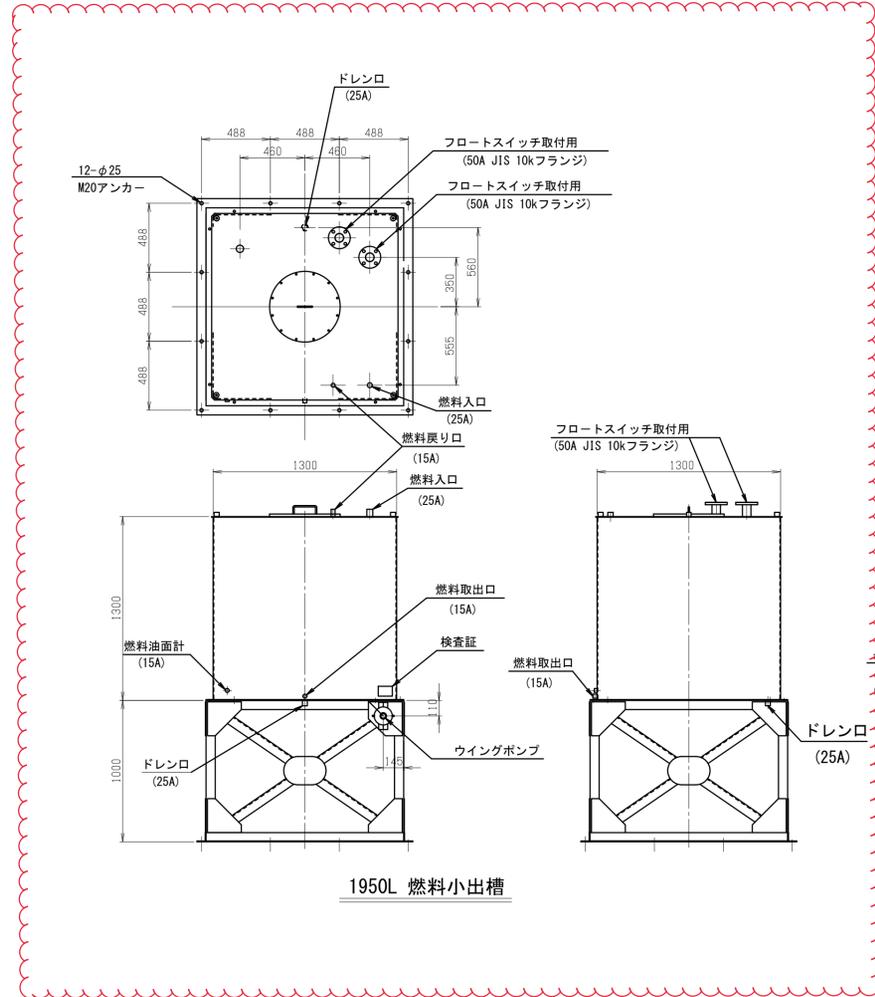
1. 消防法適合品とする。
2. 自動保守運転回路 (5分/14日) 付とする。
3. 冷却水ヒーター付とする。
4. 過負荷出力110%30分付とする。
5. 3階タンク室内及び1階給油ボックス内にインターホン取付けること。
6. 3階タンク室内及び屋上発電装置機に消火器 (消火器ボックス共) を設置すること。
自家発用1本、危険物施設用4本で危険物施設用はまとめて設置すること。
また、消火器本体に取扱説明表示、消火器ボックスに看板を取付けること。
7. 給油ボックスに危険物の種類表示をすること。
8. 発電装置は商用電源停止時には自動運転し、商用電源復電時には自動停止を行うこと。
9. 現地模擬負荷試験は実負荷試験とする。

注記事項

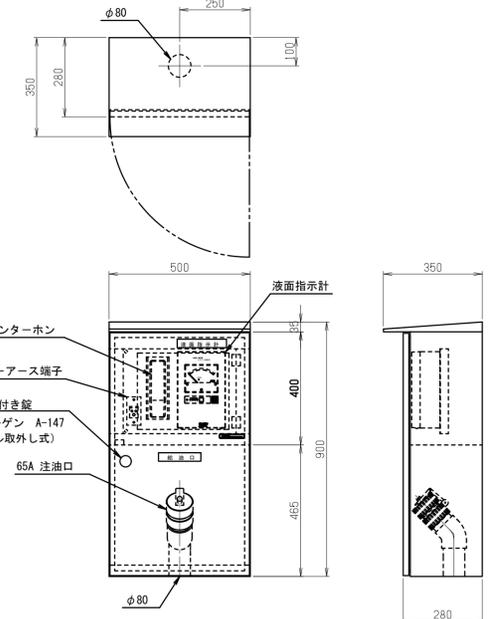
1. 配管接続部は溶接品とする。
2. SGP配管は錆び止め塗装を施すこと。
3. ハルブ及びフレキシブルジョイントの配管付属品は全て所轄消防署の承諾を受けること。
4. P.S内上げ配管には安全対策を施すこと。(安全対策の内容は所轄消防署と打合せの上決定のこと。)
5. 燃料は満タン引渡しとする。



結線図



1950L 燃料小出槽



給油口ボックス (壁掛け式)

工事名称	航空隊庁舎建設電気設備工事	令和5年度
図面名称	非常用発電設備 仕様・結線図・外形図	図面サイズ: A1
縮尺	N/S	図面番号 No. 011 (100枚の内)
大阪市都市整備局 企画部公共建築課(設備グループ)		設計事務所 株式会社 梓設計 関西支社

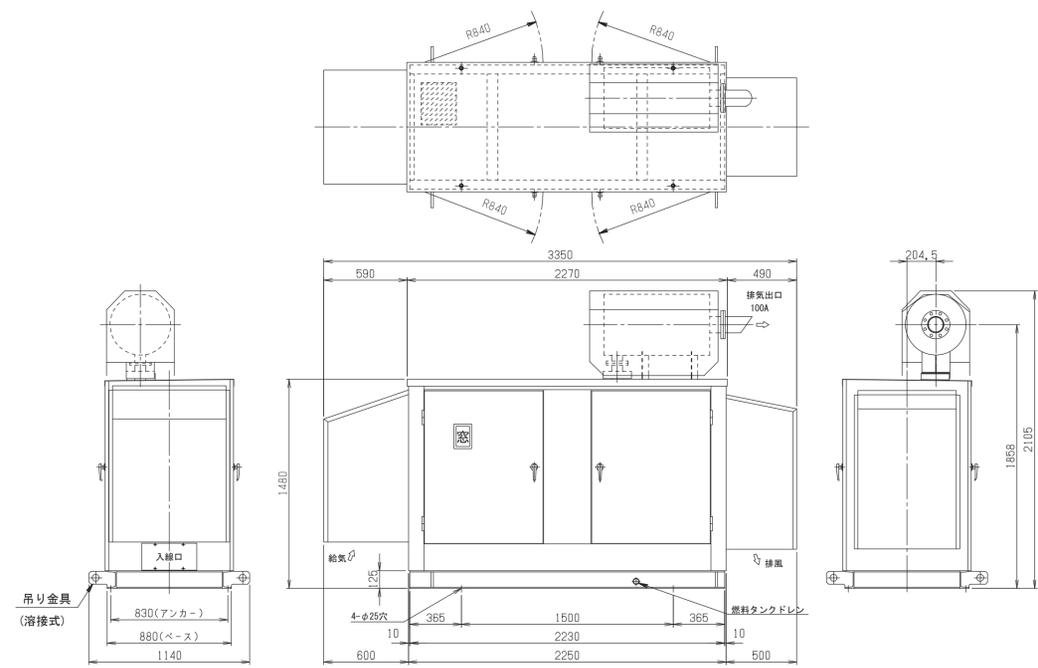
要目表

機種名称		AP115C-T (屋外)	
発電機	形式	横軸回転磁界同期発電機	エンジン 形式 立形水冷4サイクルディーゼル機関
	容量	105kVA	燃焼方式 直接噴射式
		84kW	定格出力 107kW
	電圧	220V	回転速度 1800min ⁻¹
	電流	276A	総排気量 6.5L
	周波数	60Hz	冷却方式 ラジエータ冷却
	回転速度	1800min ⁻¹	冷却水量 2.2L
	相数	3相3線	始動方式 セルモータによる電気始動
	極数	4極	使用燃料 種類 ディーゼル軽油
	力率	80%	別置タンク容量 3000L
耐熱クラス	発電機	電機子:F 界磁:H	燃料消費量 27.0L/h
	励磁機	電機子:F 界磁:F	潤滑油量(全量/有効量) 18/8L
保護方式		開放保護形(IP20)	ラジエータファン排风量 140m ³ /min
冷却方式		IC01(自由通流形)	バッテリー 種類 REH
			容量 DC24V-24AH
充電方式		半導体式自動充電	始動時間 40秒以内
キュービクル	騒音値 ※	75dB(A)以下	乾燥質量 1680kg
	塗装色	5Y7/1 半ツヤ	装備質量 1768kg
			認定 (一社)日本内燃力発電設備協会

※ 4方向エネルギー平均
機側1m、高さ1.2m 半自由音場下による

保護装置一覧表

項目	デバイス	警報表示灯	警報	機関自動停止	主回路遮断	外部信号
潤滑油油圧低下	63Q	○	○	○	○	○(一括)
冷却水温度上昇	26W	○	○	○	○	
過回転	12	○	○	○	○	
始動渋滞	48T	○	○	○	○	
過電流	51	○	○	×	○	
過電圧	59G	○	○	○	○	
緊急停止	5E	○	○	○	○	
燃料タンク減油	330L	○	○	×	×	
過負荷	49	○	○	×	×	



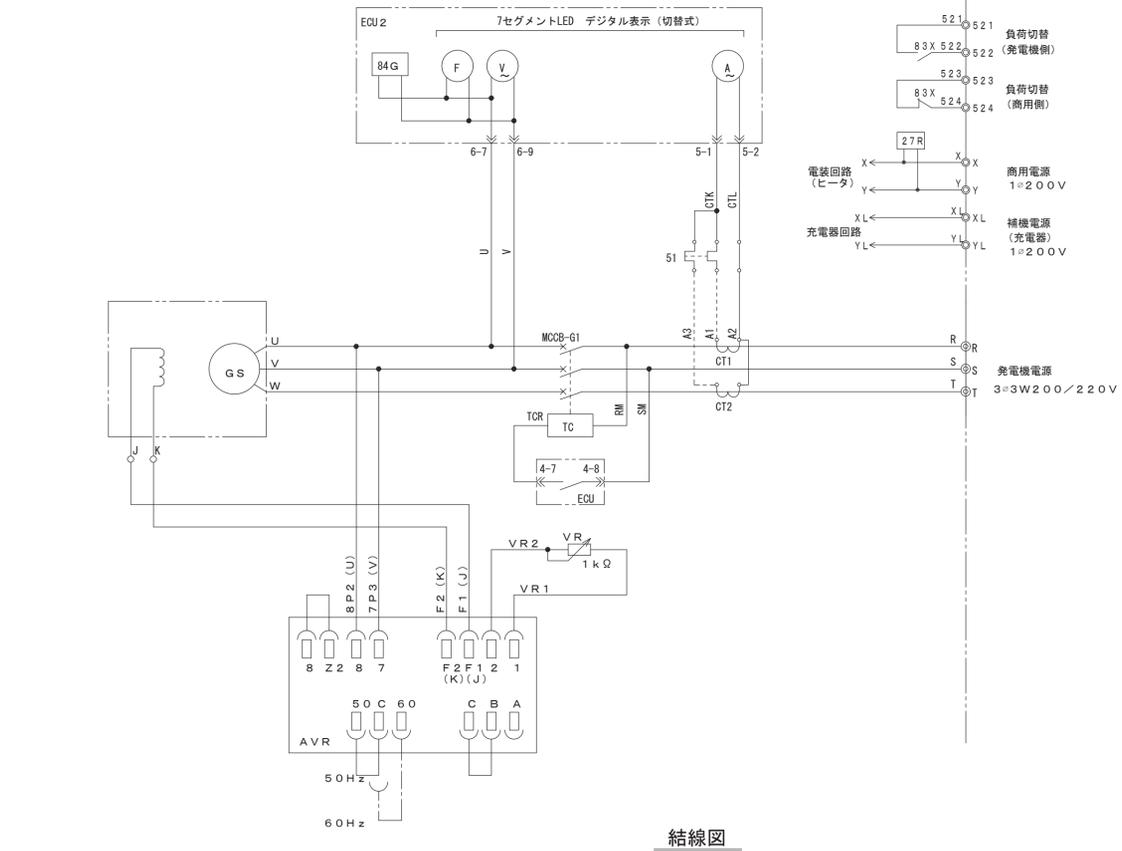
発電設備外形図(屋外 75dB 仕様)

特記事項

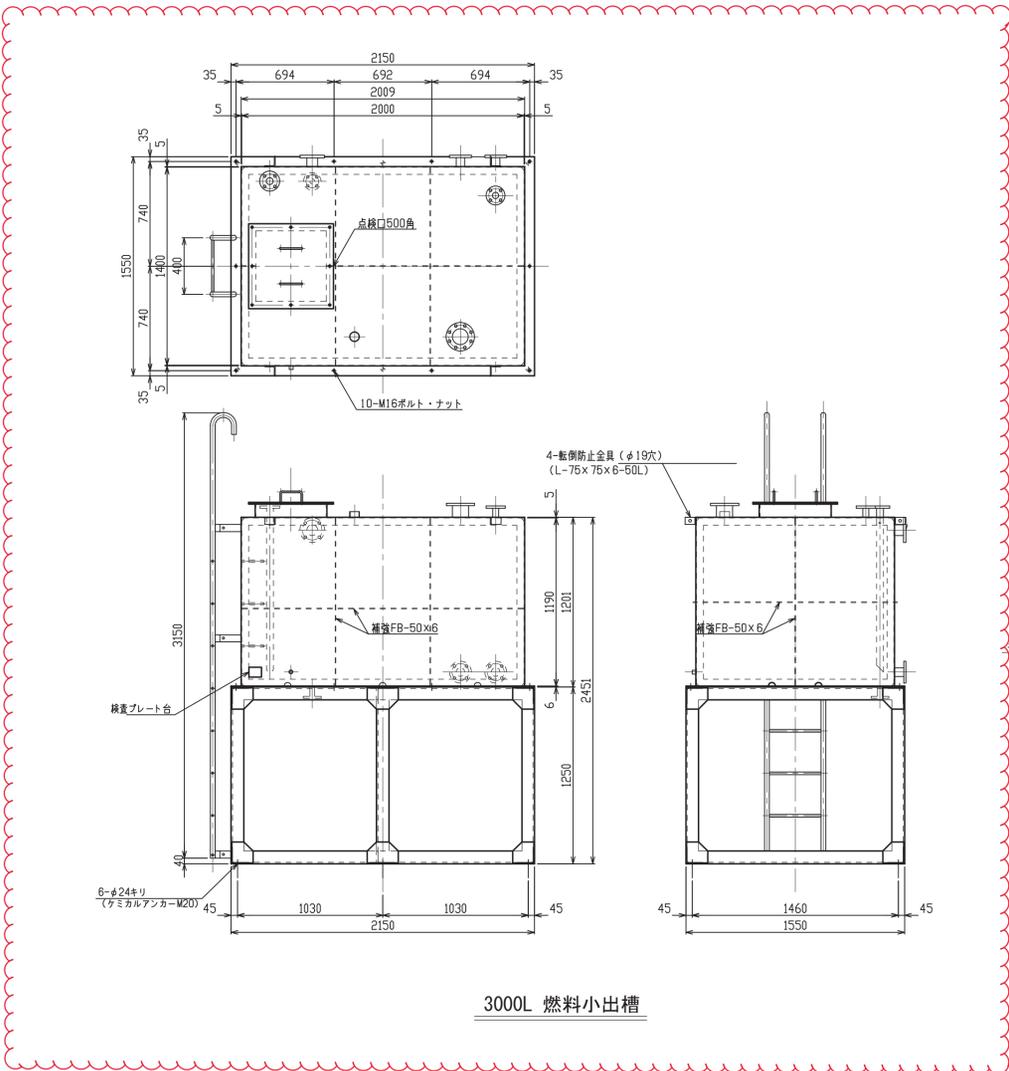
- 消防法適合品とする。
- 自動保守運転回路(5分/14日)付とする。
- 冷却水ヒーター付とする。
- 過負荷出力110%30分付とする。
- 3階タンク室内及び1階給油口ボックス内にインターホン取付けること。
- 3階タンク室内及び屋上発電装置機に消火器(消火器ボックス共)を設置すること。
- 自家発電1本、危険物施設用4本で危険物施設用はまとめて設置すること。
- また、消火器本体に取扱説明表示、消火器ボックスに看板を取付けること。
- 給油口ボックスに危険物の種類表示をすること。
- 発電装置は商用電源停止時には自動運転し、商用電源復電時には自動停止を行うこと。
- 現地模擬負荷試験は実負荷試験とする。

注記事項

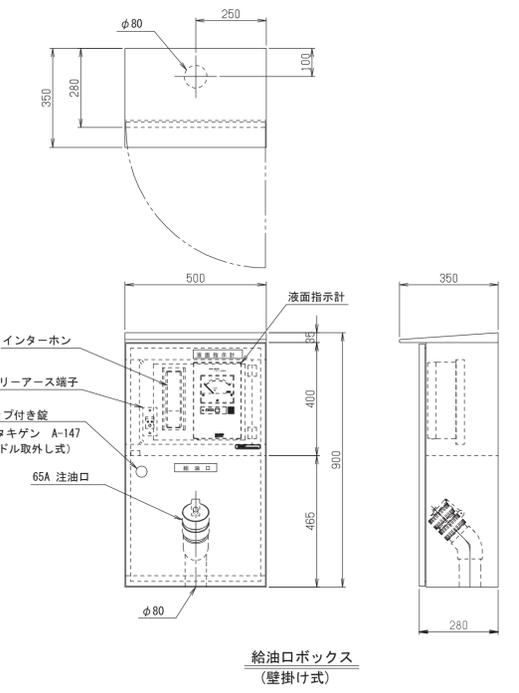
- 配管接続部は溶接合とする。
- SGP配管は錆び止め塗装を施すこと。
- バルブ及びフレキシブルジョイントの配管付属品は全て所轄消防署の承諾を受けること。
- PS内立上げ配管には安全対策を施すこと。(安全対策の内容は所轄消防署と打合せの上決定のこと。)
- 燃料は満タン引渡しとする。



結線図



3000L 燃料小出槽



給油口ボックス(壁掛け式)

工事名称	航空隊庁舎建設電気設備工事	令和5年度
図面名称	非常用発電設備 仕様・結線図・外形図	図面サイズ: A1
縮尺	N/S	図面番号 No.011 (100枚の内)
大阪市都市整備局 企画部公共建築課(設備グループ)		設計事務所 株式会社 梓設計 関西支社